夕刊 磐城新聞
二月五日發行
定價 一部金五錢 一ヶ月金六十錢（郵税拾五錢）
廣告料金 普通欄 金六拾錢 雜報欄 金九拾錢（五號十二字詰一行一行増毎）（場所指定一行一回）
編輯兼印刷發行人 柏木哲
福島縣石城郡平町々田町十六番地
發行所 磐城新聞合資會社
登録交換電略（タイラヰワキ）
平局私書函第十二號
電話五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

童話　森の家のお客

樫葉勇

（一）

大きな森がありました。其の森の中に一軒の小さいおうちがあつて、そこには一人のお婆さんが住んでをりました。お婆さんのおうちへは毎日大勢のお客樣が參りました。

お客と云ふのは、お猿や狐や狸や兎などのやうな森の中のけものたちです。

『お婆さん、今日は、あのづつと向ふの高い木は何でしたね』

『お婆さん、そこの赤い色をした實のなつてる木は何ですか』

けものたちはいつもお婆さんに森の木の名をききに來るのです。と云ふのはこの森の木はどれもこれもみんな林檎や梨や蜜柑のやうな果物の木で、おまけにそれが年が年中なつてゐるので、けものたちは喜んでそれを食べるのですところがたべるときにはきまつて、『林檎さん、林檎さん、一つ下さいね』といふ風に木の名を呼ばなくてはならないのです。これにはけものたちも弱りました。何しろ忘れんぼうのけもののことですから、たべようと思つて木の下へ行つてもどうしても木の名を思ひ出せないことがあるのです。こんな時には急いでお婆さんのお家へ行つてききますとお婆さんはいつも親切に敎へて下さいます。

或る日、いつものやうに大勢のけものたちがお婆さんのおうちへあつまりました。

『お婆さん、敎へて下さいよ。ほらたくさん房になつてゐるのはなあに』

『あれかへ、あれは葡萄だよ。お前にさつき敎へたばかりぢやないか』

お婆さんはやさしく敎へてやりましたら、栗鼠は喜んで飛んで行きました。

『それぢやお婆さん、あの黄色がかつたのは？』

『あれは蜜柑だよ』

兎も喜んで走りました。

今度は狸が申しました。

『お婆さんあのづつと森の奥にある、まだ誰もたべたことのないのは何ですか』

『あれは、お前たちのたべるものではないから、敎へることは出來ない』

『僕もあれが知りたいんだ！』

横の方から口を出したのは狐です。

『いや何度きいてもあれだけは敎へられないよ』

『どうしてですか、お婆さん』

不平さうにお猿が申しました。そこに來てゐた他のけものたちも、どうかしてききたいと思ひました。その木にはどつさりおいしさうな實がなつて、枝も折れるほどなのです。けものたちはその實をたべたくて仕方がないのですが、お婆さんがどうしても敎へてくれないのです。

『ねえ、けものたちや、お婆さんは惡いことは云はないよ。あの實はお前たちにたべられないのだから、もうこれからききにくるのではないよ、さあ、他の木ならどれでも敎へてあげるから』

お婆さんからこんなにやさしくいはれますと、けものたちはみんなおとなしく、かへつてしまひました。ただ一人のこつたのはお猿さんです。

工場歸り（童謠）

大川赤夢

五色揚げ
にほふ
夕方

腹が
へつて
來たなー

軒から
こうもり
とんだ

弟の
躁する
家のそば。

多摩御陵

島田忠夫

やゝ古りて神さび鎭む山べの冬木にさむく天し垂れたり

皇太后の御詣でありし後にして掃き淨められし玉砂を踏む

すくすくと米澤杉の梢朱みつつましみ見る枯芝のいろ

髮結ひて童たがりつつ云ふ孀やわれらの前を伯父とちらとゆく

音疎く氷雨はふれり林泉の池のうろくづかたまりひそむ

日の夕べ高尾山に來り頓に寒し氷さめはつひに白き混へぬ

時代警語

○勞苦せぬ人は宜く食ふべからず…（ポーロ）

世には事業、實業と云へば之を賤むものの多いのは全くその意を得ぬ事である、されば勞苦を厭ふ人間は飲食する資格のないものである事をポーロは云はれたのである…

消息

◎『桐の實』―加藤輝雄氏第一童謠集『桐の實』が童謠派詩書第三篇として出版される。裝幀は南薫造島田忠夫の兩氏。發行所

拈華微笑

鈴木派のベロ行脚日取決る。愈々本格的になつて來た選擧氣分
◇
物價とおつき合
ひの氣か。勝つた去月の寒暖計
◇
榊の枝で神式により首縊り
◇
四十八名の食者
を霑すも百兩。青樓紅閨裡に飛ばすも百兩
◇
いとも朗かに來る明日の舊元旦
※……※

社會の今日

2月6日 △朝廷藤原成親の官を奪ふ（嘉永一二）△幣原首相代理失言問題にて議會大亂鬪△インド國民運動指導ネール氏死去（昭和六）△高知室戸岬附近暴風漁夫五十八名行方不明となる（昭和五）

○

氷とけて浪立ちそめし諏訪の湖の、あかるき波をかつぐ水鳥

結城哀草果

講談　俠艶 女長兵衛

東京 斯波南更
（魚崎潮畫）

（一二七）

跡部彦四郎も感心し。彦『イヤ長兵衛、お前の義俠は豫て聽くところ能くぞ此の一件を予のところへ持込んで呉れた、萬一表向きになつた時は、幾ら長田の家の無事を計つても無駄事と相成る、予の方へも波之丞の葬送は明後日と云ふ通知が參つて居る、葬式が濟んだ跡では事が面倒になるかも判らぬ、今日のうちに手配を付けて置くが好い、是れ／＼八彌』八『ハハッ』彦『三番町の多田利太夫方へ參つて急に申し談じ度きことがある速かに同道して參れ、イヤ長兵衛、お前が此の一件に立入ると云つては、チト相談が甘く參らぬかも知れぬし、萬一の時お前の名が出るやうでは、後家のうしろには水野十郎左衛門の影が動いて居る、何か事が起るのも面白くないから、是れは予が萬事引受けて遣る、波彌と市助兩人は予に預けて行くが好いお前の思つた通りの計らひを着けてやるから心配せずに居ろ』長『イヤ拔う御前樣がお引受下さるなら、是れに越す安心はありませぬ。夫では何うぞ……』跡部彦四郎も水野十郎左衛門の方を乘ねる、此頃十郎左衛門と幡隨院の長兵衛とは、何か誤多／＼が始まつて居る白柄組と町奴の勢力爭ひと云つた事が始まつて喧しい彦四郎は元來水野などの荒武者を苦々しい事に思つて居りました處だから、其の水野と町奴に近い女長兵衛と衝突させては成らぬと考へ長兵衛も其意のあるところを知り、喜んで波彌市助を跡部の屋敷に置いて引取る、用人森川八彌は三番町へ出て來て多田利太夫を連れて戻ります、利太夫は病氣でも何んでも無い事は前申上げる通りの次第だが、長田波之丞の死去に就いて悔みにも通夜にも出ぬのは謀判の憤りが强かつた爲めでございます、跡部の屋敷へ來た八彌は八『是れに暫時お控へを願ひます、唯今から』と云つて奥へ入つた主人へお出の由申上げます差示された一間の唐紙を開いて中へ入ると思ひも掛けぬ長田の一子波彌と老僕の市助が、丸い火鉢を圍んで何やら話しを致して居ります 利『あッ波彌』波『是れは小父さん好うお出なさいました』利『好うお出ではない、お前の親の波之丞殿が死んだと云ふのに何しに斯樣なところへ參つたのだ！』波『父の死去と聽いて參つたので、御當家にお願ひ申し父の死顏なりと對面致し度く』利『變なことを云ふではないか、全體お前は屋敷に居なかつたのか』波『ハイ手前は根岸御行の松の菅沼の隱居所に市助と共に押込められてゐたのでございます』利『菅沼の隱居所……成程然う云へば病氣保養のため遣つてあると云つたが』と漸く考へ出した、何うも不實な小父さんなのだ……ところへ合の唐紙をサッと開いて彦四郎。彦『アイヤ多田、其許は長田のために家付の親類ではないか、後家政江の上の數々の不仕だらが有ると云ふ事も知らずに居るとは、實に言語道斷の沙汰だ、波彌は可哀想に座敷牢へ入れられ、食事を當てがはず干し殺しにされ樣としたとこを雜司ヶ谷飯綱權現の天狗に助けられ、斯く無事安泰の身體に相成つた、聽けば其許も政江の手に乘り、既に不義を働くところださうだが、是れも飯綱天狗の情によつて、甘く切拔けさせたと云ふ、今日より心を改めて長田の爲に働けば好し、前のやうに助平根性を出し量見違ひを致すに於ては立所に其の冥罰が下るがどうだ』怒氣を滿面に溢れさして彦四郎、利太夫をハッタと睨んだ、是れは彦四郎の仟言だつたが、仟言にせよ身に覺えのある事だから利太夫一縮みに縮み上つて恐れ入る、一旦色情に迷つたとは云へ、今日では迷ひが覺めて居るから、其の恐縮も一汐なのだ……。

ラヂオ

仙臺 JOHK …六日―（土曜）…

△前七、〇〇A ラヂオ體操
△九、〇〇A 氣象通報
△九、一〇 料理獻立（ポテト、オムレツ）松本良雄
日用品値段（漆器るい）
△一〇、三〇 家庭講座（わたしは百一歳）高橋その（一〇一才）
△正午A 時報
△後〇、〇五 俚謠 一、相馬節 二、えんこう節 三、相馬流山 四、かんにん節 五、桑摘唄 六、伊達小唄 七、相馬二遍返 八、福島甚句
△〇、四〇A ニュース 氣象通報 告知事項
△二、〇〇A 家庭講座（箏曲）宮城道雄
△二、四〇 五、三〇A 角力中繼（新興力士團大角力狀況）
△三、四〇A 氣象通報
△四、〇〇A ニュース
△五、四五 今晩の番組豫告
△六、〇〇（子供の時間）獨唱付お話（オサルとお正月と童謠）錫木碧
△六、三〇A 英語講座（中等科）シーエスバビア
△七、〇〇A ニュース 氣象通報 告知事項 番組豫告
△七、三〇A 選擧講座（選擧運動に就て）內務省警保局長森岡二朗
△八、〇〇 長唄（戀傾城）唄…里千代 三味線…杵屋六彌重 同…高橋こう
落語（かつぎや）吉野家花山
△九、〇〇A ヴアイオリン獨奏と管絃樂（スペイン交響曲）ラロ作曲、アレグロ、ノン、トロッポ、スケルツアンド、アレグロ、モルト、アンダンテ、ロンド、アレグロ 日本放送交響樂團
△九、四〇A 昨報 ニュース 氣象通報 番組豫告
積雪量

吉例景品付大賣出し
舊正月二日、三日、四日の三日間
金輸出再禁止前の安値仕入品を更にお努めの破格提供!!
ふかや洋服店

何品ニヨラズ普通價格ノ半値ニ相當スル賣亂
景品附大投賣
舊正月二日三日ノ兩日
當日は何品によらず景品の外一圓五十錢以上御買上の御客樣に對し先着五十名樣へ御婦人用手提鞄壹ケ進呈致します。
一、革靴大人用最上 金三圓五十錢ヨリ
一、トランク鞄二尺 金五圓ヨリ
一、折鞄尺一寸 金二圓五十錢ヨリ
一、小學生用革ランドセル 金八十錢ヨリ
一、最上ゴム靴大長 金一圓二十錢ヨリ
靴 鞄 皮製品一式 福山靴店 平町田町大通

寶探し豫告
吉例舊正月二日、三日寶探し大賣出し
吉例當店獨特の（店內）寶探し福運は誰に？
御買上はダイヤ堂 鈴木時計店へ
舊正月二日三日二日間は一直線に御來店を御待ち居ります。
平驛前通 ダイヤ堂 鈴木時計店

夜間診療
胃腸 梅毒
內科 十二指腸虫病 專門 內科部
淋病 皮膚病 婦人病 專門 外科部
松村胃腸性病科醫院（平南町電話一〇七番）

謹啓嚴寒之候各位益々御清榮之段奉大賀候。陳者最近同業吉田芳太郎氏は明雲堂の名稱の下に開業仕り候ため當院ご混同せられ甚だ迷惑致し居る次第に御座候へ共同氏ご當院ごは全然關係無之ものに御座候右謹告候也
平驛前 明雲堂眼科醫院 新妻幸之助

風邪せきには是非吸入を！
吸入錠 百錠入 金五拾錢
◎御家庭で簡單に出來る吸入藥の作り方
吸入錠十錠をアルコール瓶一本に水を入れて溶かせばすぐとけます。
一家に一箱御用意を願ます……。
平町二丁目拾六（電話三二六番）
頭痛藥ライトーン 目藥神效水 堀藥局
ハカリクリーム・香水・あづき入洗粉 調製
◎香水の見分法
瓶を振つてみて、細かい泡がなるべく長い間消えないでゐるのがよいので泡がすぐ無くなつて了ふのは、アルコールが多い證據です。又、少量を手の甲につけこすつてアルコールをたゝせた後、何アルコール臭のゝこるのはあまりよいことありません。

吉田眼科病院 平町紺屋町

ハシモトヤの毛糸
編物講習會
毎日階上で編物と手藝の講習會を催して居ます。どうぞ御遊びに御出で下さい。カギ編。棒編。文化器編。何でも御自由に御敎へ致します
會費は一日十錢
田町 ハシモトヤ糸店

今度の御調髮は是非どうぞ……！
明るい感じ清々しく電氣バリカンの爽快な刈込み……
氣持よいシャンプ、電熱アイロン
電氣マッサーチの上品な仕上げ！
キット皆樣の御氣に召すで御座いませう……
是非一度御光來御調髮の程お待ち申上げます。
平町田町 石崎理髮店 大床號 電話一八八

內科、小兒科 市原卯太郎
外科一般、婦人科 市原陸郎
外科、梅毒、淋疾 皮膚病 市原三三男
平町田町本通
市原醫院（入院隨意）電話一一四番

本社の慰問に對する謝狀一束 108

滿洲から

宛然內地の彌生ごろ 柔い春風が訪れて居る

水溫む變態陽氣の遼中から

磐崎村出身　渡邊豐君

事變以來この方光輝ある貴社の御援助を賜り今日潑溂たる元氣を以て今後の戰鬪を期待出來居るのは是れ偏に貴社各員の日日の御禱願の賜と小兵只感涙に咽んで居ります、顧れば突如世界の注目を引いた滿蒙の戰も遂に皇軍の勝利に期して以來黠々と進軍皇軍の向ふ處敵なし。幾多の困苦欠乏もありしが幸にして犧牲の數も少なく今日在るは是れ母國に在る我が國民の援助なるものと考ふ、小兵チチハル三間房の戰況を禮狀に添へ樣子御一報可申上處なれど引續く進軍多難に取りまぎれ遂御無沙汰の點何卒御容赦の程を願ひ上ます先は簡單ながら御禮迄申上ます。

——二伸。只今大隊は匪賊討伐のため奉天を去る西南方約二十里遼中縣遼中に在ります治安維持のため警備の任に就いて居ります、歩兵〇〇聯隊の一部は遼中を去る東北方四里の地點に位置し昨夜邊りは交戰の砲聲が地を響かせて居りました、格別氣候の變化もなく過日邊りは恰度內地の三月下旬の樣に春風が訪れて居ります

嚴谷小波氏により 平小唄の採用決定

審査會の二等入選浮み上る

過般平敎育會で懸賞募集した平小唄は去月十七日の審査會後嚴谷小波氏に添削を依賴中であつたが此程左記五丁目大內文平氏作にして審査會に於ける二等入選の分と決定した、因に作曲は嚴谷氏の推薦による新進作曲家の手によつて作り上げらるる筈であると

平小唄

一
花の新川日ぐれの土手を
櫻吹雪にぬれぬれ戻りや
まれぎますぞえ街の灯が
サッサ平の町の灯が

二
宵は本町目ぬきの通り
更けりやしんみり新田町
朧月夜に花が散る
サッサ月夜に花が散る

三
平五萬石あやめのおほり
花はむらさきゆかりの色よ
土にや情けの根が深い
サッサ情けの根が深い

四
赤井の雪さへ春くりやとける
とこて解けないなぞはない
といでおくれよ私のなぞを
サッサとかしやれわしのなぞ

五
鮫狩なら鎌田の田圃
夢に來たのか現に來たか
更けりや身にしむ夜の風
サッサ身にしむ夜の風

六
一度みやんせ平の盆を
町は火の海ジヤンガラおどり
おどりやあの世の佛もおどる
サッサあの世の佛もおどる

七
月に一度のお三夜樣に
逢ふがたのしみ人波分けて
足をふまれてわしや泣いた
サッサ逢はずにわしや泣いた

八
月が出た出た鐘つき堂に
松の葉末の白玉夜露
戀し昔の影やどす
サッサ昔の影やどす

九
平名物湯の嶽おろし
さらりさらりと窓うつ風に
うつる思ひの袖まくら
サッサ思ひの袖まくら

逐年の兒童增加に各校とも收容難

識者間に結果憂慮さる

郡下各小學校では逐年就學兒童の增加に伴ひ甚しき收容難を感じてゐるが時節柄新增築の途無く種々當面の彌縫策を講じ一學級に七十人乃至八十人を收容しつつある有樣で兒童の學習指導上不備の點少からざる爲識者間に憂慮されて居るが遂に匡救の途無く郡下三萬七千の兒童は極めて氣の毒な立場に置かれて在る

磐女校歌 作者決定

土井晩翠氏が許諾

磐女二十周年記念の校歌は土井晩翠氏に交渉中であつたが此程許諾の旨通知あつたので更に作曲家の人選中であると

變態陽氣の裡にけふ愈々春立つ

小名濱測候所 開設以來の暖かさ

けふ春立つ——昨四日の『節分』で『寒』三十日も明け、今五日は『立春』暦にも、いよいよ冬つきて春迎ふる日となつてゐる

今年の寒中の暖かさは小名濱測候所開設以來の奇現象で一月中の平均溫度は攝氏四度九分（華氏四十度二分）最高十度五分最低氷點下零度二分であつた、同測候所開設以來の二十一年間に於ける一月中の平均は二度四分、最高七度九分、最低氷點下二度五分であるから今年の陽氣は之れから見て平均二度五分、最高二度六分、最低二度三分丈け暖かつた事になる。

平町の共濟委員定數十三名と決定

今六日通牒さる

去月一日から實施された救護法に依り共濟委員を置くべき郡下町村及定數は今六日左の如く夫々通牒あつた

平一三、植田二、勿來三、小名濱四、江名三、磐崎二、湯本五、內郷七、永戶、箕輪三、四倉三、上下小川二、川前二

ロロロロロ 第三校童話會　平第三小學校では今五日午前十時から講堂に於て低學年生の童話會を左記に依り開催した

進軍ラッパ（一年三組）尾の三ちやん（若松訓導）飛行機の話（野木訓導）レコードコンサート

鈴木候補の言論戰は明後七日火蓋を切る

各種文書類も一兩日中發送

決戰迄あと半月、立て看板の街頭進出に、各活版屋の夜なべに、選擧氣分は日と共に加速度を以て濃厚になつて行く、衆望を一身に鍾めて雄々しき名乘りを揚げた政友會公認鈴木辰三郎氏の一派では平町南町大和家を本陣として內外諸般の劃策が着々進行中で前哨戰たる文書の差立は愈々茲一兩日中に行はれると同時に我黨禮讃敵黨潰滅の言論戰は舊二日の七日を皮切りに一日數回宛各町村に於て開催される、日割次の如く會場は特記の分を除き何れも小學校である

（七日）鹿島、高久、飯野、夏井（八日）草野、江名、神谷、豊間（九日）赤井、平窪、小川、好間（十日）磐崎、泉、玉川、小名濱（十一日）高野溫泉、箕輪、內郷願成寺、同裁縫校、渡邊村釜戶、植田、渡邊田邊、山田（十二日）合戶、中三坂、澤渡、川部、窪田、錦田、錦（十三日）川前、田人、入遠野、石住、上遠野、山田分校（十四日）湯本、好間、內郷磐城劇場、平第三校（十五日）大野、四倉、大浦、內郷御厩（十八日）內郷磐城劇場、平町聚樂館

匿名の寄附百圓を町內の四十八名へ

一同感謝の淚を光らす

町役場では昨四日匿名の慈善家から寄附された百圓を早速町內の極貧者四十八名に分配したが碌々食事にも有りつけなかつた人々は淚を以て感謝して居つたと

日用品物價

何れも騰勢を辿る

平町役場調査の日用品物價左の如く何れも漸騰を示しつつある

白米上一六〇、白米中一五五、白米下一五〇、白麥一四〇、味噌並五〇〇、醬油並三五〇、清酒並九〇〇、木炭楢二〇〇、木炭雜一五〇、砂糖白一七〇、砂糖赤一〇〇、豚上四〇〇、豚並二〇〇、牛上四〇〇、牛並二五〇

ラヂオ寄附

平町富永ラヂオ商會では此程平第一小學校へ交流式ラヂオ機一臺を寄附した

水害豫防起工

延八百名の使役に失業勞働者助かる

平、內郷、飯野水害豫防組合では愈々今五日から工費七千三百九十圓を以て新川筋の豫防工事に着手したが竣功は三月末の筈で使用勞働者は時節柄平職業紹介所と協力し延人員八百人の失業勞働者を使用する事に決定したと

高女生八十名が殺人公判傍聽

十七日平支部へ

昨年九月十八日夜二箭山夜祭りの歸途上小川村地內縣道で平窪村青年明知行雄(二六)を銳利な短刀で傷害死に至らしめた赤井村大字鹽田鈴木淸政(三二)に係る殺人事件は曩に平支部藤原豫審判事の手により豫審終結決定福島地方裁判所の陪審公判に附すべきを當人が辭退を申し出たので來十七日午前九時から平支部に於て開廷する事となつたが當日は磐女四年一二組生徒八十餘名が受持敎諭に引率され傍聽すると

舊正の平局

廢休の大努力

平郵便局では舊正月と總選擧のため七日、十一日、十四日は日曜祭日も平常通り各種事務を取扱ふと

ロロロロ 農事傳習會　神谷農試分場主催の農事傳習會は十五日午前九時から同場で開催する

永野氏寄附

平町辯護士永野柳造氏は過般夭逝した二男義夫氏の忌明に當り贈り物に代へ免囚保護事業に金一封を寄附した

各地情痴ニュース

△情痴母娘殺し　岐阜縣本莊久保見川魚町西堀庄次郎方で同人妻ハギノ(五六)を銳利なる出刃庖丁で頸部を滅多斬りに斬りつけ瀕死の重傷を負はせて更に同人娘チエ子(三三)の頸部を斬つて逃走した犯人があつたが右は同家隣の西川增藏(六〇)で原因は增藏とハギノの間に出來た不義の子イコ(四)を中心に爭つた結果だらう

△內緣殺し六年　東京府下王子堀之內二一〇瀧澤方渡邊勘造(四二)は酌婦上りの梅川ふく(二八)と內緣關係を結んだがふくが秋風を吹かしはじめたので嫉妬の餘り匕首でふくの背部を突きさし即死させた事件は此程東京地方裁判所で懲役六年を言渡された

△血の池地獄心中　別府市外龜川町福吉旅館に數日前から投宿してゐた伊豫電氣株式會社員山本正道(三九)愛媛縣溫泉郡三浦町藝妓德本しげ子(二四)の兩名は日夜一室內に閉ぢこもつてひそひそ語り合つてばかりゐたが三日目に初めて外に出た儘歸つて來ず大騷ぎとなつたが血の池地獄に投身情死してゐるのを發見した

△恨の丑の刻詣り　淡路岩屋町東の町岩楠神社本殿裏手から數日來夜每に丑滿頃異樣な物音が聞えるので附近の住民が獵奇心に驅られて調べてみると鬱蒼たる森林の杉の樹に五寸釘で咽喉部を突かれた藁人形のあるのを發見した。右は橋本町吉田吉の妻きよ(三〇)が夫を水田さか(二七)に寢取られた爲恨みの丑滿參りをしてゐたのだ

△轉んでも唯では　東京府下馬込町字北洗足三九八三村方山本ゆたか(二四)が午後十時頃有樂町驛裏に差しかかつた際自轉車に乘つた二十五、六歲の男が後方から矢庭に同女を押し倒し暴行を働かんとしたが果さず同女が所持の現金五十五圓並びに化粧品數點入りのハンドバックを强奪して逃走した犯人目下嚴探中

平町慶弔錄

△出生
白銀町三八內郷村白水濱井場一鈴木甚吾二女芳枝
田町八八橫濱市鶴見區鶴美町一〇五八廣瀨貞夫長女和子

ロロロロロ 水難救濟總會　四倉水難救濟會第四回總會は明六日午前十時より四倉座に於て開催すると

ロロロロロ 優良漁船表彰　四倉濱漁業組合では明六日午前十時より四倉座に於て六年度優良漁獲船表彰式を擧行すると

五十日も經過した身許不明の縊死体

川前國有林で發見

川前村大字川前字外門一七八國有林內に死後五十日以上經過した勞働者風體の五十歲位の男が榊の枝に黑木綿兵兒帶で縊死し居たるを此程通行人が發見し小野新町署の齋藤巡査部長の檢視を了したが身許不明のため死體は川前村役場の手で假埋葬に附した

二日の「人雪崩れに

自動車運轉制限

交通事故絶無を期す

明後舊正二日の買ひ初めは例年通り大雜沓を呈するものと觀られてゐるが混雜中の交通事故を避くる爲左記の如く自動車の運轉區間を制限する事となつた

四倉方面—六町目發電所脇角まで　△小川赤井方面—才槌小路魁文堂脇　△湯本方面—長橋　△小名濱方面—月み町片倉製糸場前　△好間方面—子鐵倉神社下

兒童も手傳ふ

學校で早退さす

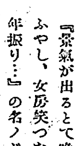
町內の各商店は賣り初めの準備に忙殺されてゐるが小學校では手傳ひの爲兒童を早引きせしめ便宜を圖つてゐる

滯納者の轉出に手を燒く徵稅係

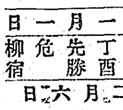
督促狀交付不能百二名

平町役場では此程六年度前期分町稅滯納者二千五百十二人金額九千八百二十七圓に對し督促狀を發した處不景氣の深刻化に伴ひ此種稅金及電燈料、水道料を支拂はず殆ど夜逃げ同樣他町村へ轉住するものが續出した結果住所不明の爲督促狀を交付出來ぬ者百二名の多きに上り當局でも非常に手を燒いてゐる

艶罪黑白（べちや）



◇『一つ良いトコ聽かして頂戴な』と許り、例の調子でお鯉にデレつかれたお客◇咳一咳『景氣が出るとて晩酌ふやし、女房笑つた二年振り…』の名ノドを放送すると◇根がアマワタと緊縮方針が大嫌ひなお鯉。すつかり嬉しくなつて了ひモ一つモ一つと所謂嵐の樣なアンコールを送る◇お客し方なしに『稅はぶえるし民政黨はいやよ娘質に置いて來だ足らぬ…』とやらかすや一府有頂天になつて『今晩のお勘定わたしが持つわ』と來たそうな。長閑な春だ。



舊	一月	一日
土曜 丁酉	先勝 危	柳宿

二月六日

諸判定應需　東京市本郷區湯島四丁目五番地　高島易斷總本部　神誠館

▲一白の人 一怠らず內事に勉むれば福ろく自ら來る日▲二黑の人 幸運の芽は次第に伸び實を結ぶ兆となる日▲三べきの人 足元に氣を付けず小石につまづく如き險惡の日▲四綠の人 一通りの苦勞にては濟まぬ日じちよう專一とす▲五黃の人 急功を望まず永遠の福利を思ひ計畫すべし▲六白の人 我意を專にする事なく他の言に從ふが得策▲七赤の人 無理な爲す時は後日に至り大なる反動來る▲八白の人 けいぐわくの斷行に取掛るべし小を積み大と成る▲九紫の人 失費多くして入ること少なき日焦る可らず

廣告

舊正月一、二、三日間　銘酒 玉菊 大賣出し　松本屋　四倉町新町電六二

前田醫院　院長 前田淸美　植田町電話一二四

吉例舊正月二日三日初賣　景品付大特賣　當日午前二時開店
◇責任保證最新型時計の推奬　◎スピード時代に於ける能率增進はまづ正確な時計から
◇蓄音機の特賣部新設　◎敎育に誤樂趣味に御家庭の和氣をそゝる肉聲其儘の蓄音機
◎レコード新譜各種新着　其他眼鏡、指環、貴金裝身具懷中電機等豊富に新荷着
平町五丁目(釜屋商店前)　鐵道省御用　金光堂時計店　(電一五九番)

高久病院　平町田町　(電話五一三番)
醫學士 高久忠　新潟醫學士 赤羽淸　藥劑士 佐竹菊雄
內科　小兒科　外科　花柳病科　耳鼻咽喉科　レントゲン科

お醬油は……ヤマフル　鹽屋　味噌醬油　たひら正宗　鰹節　食料品
山崎合名會社　福島縣平町　電話(營業部一〇番 本店二七番)
明治生命磐城代理店　山崎與三郎

貸切は◎　親しみあるサービスを以つて知られたる！　尼子タクシーへ　電六四〇番　主任 澤正路

內臟外科一般　外科花柳病科　(入院隨意)　平町六丁目(橋際)　木村外科醫院　電話三〇九